

若鮎まつりを振り返る

町内外のみなさんに支えられ、今年度で第43回を迎えるふながた若鮎まつり。これまでの歴史を振り返ります。

なつかしの歴代若鮎まつりポスター。
第1回から抜粋して掲載しています。

とき 9月15日・16日
ところ 十二河原会場



第2回の若鮎まつり。鮎つかみどり放題などが行われ、人気を博しました。



第6回の若鮎まつり。「ミス若鮎コンテスト」が初開催されました。



第11回の若鮎まつり。「鮎ラブユーコンテスト」が初開催されました。

昭和56年



第1回の若鮎まつり。観光産業の発展を目指し、町の特産品である鮎を味わってもらうイベントとして始まりました。

昭和60年



第5回の若鮎まつり。「ふるさとまつり」が同時開催され、第22回まで続きました。

平成2年



第10回の若鮎まつり。町にゆかりのある小松みどりさんが特別出演。夜にはアマチュアバンドコンテストが開催されました。

平成10年



第18回の若鮎まつり。約3万匹の鮎が振舞われたほか、伝統漁法の実演が行われました。

平成15年



第23回の若鮎まつり。「ワッショイパレード神輿祭り」が初開催されました。

平成22年



第30回の若鮎まつり。鳥羽一郎さんの歌謡ショーのほか、クイズや写真コンテスト、遊具の設置など、新たな企画が行われました。

平成5年



第11回の若鮎まつり。静岡県川根町や千葉県旧富里町、沖縄県などとの物産交流が行われました。

平成13年



第21回の若鮎まつり。大泉逸郎さんの歌謡ショーが開催され、来場者2万4,000人を記録しました。

平成18年



第26回の若鮎まつり。県立村山農業高等学校の徳内ばやしの披露やフリーマーケットの初開催などがありました。

